

広聴特別委員会 意見交換会のまとめ（森山委員長作成）

1 議会カフェ

① 周知方法

○ポスター、チラシ

- ・ポスターを張った意味があったのか？（多くの人が、議員の声掛けではないのか？）
→やはり、周知が大事。
 雰囲気（意識）づくり、効果を高めるには必要。
 地域交流センター以外にも、サンパーク等、掲示場所を増やしてはどうか。
- ・チラシを見て開催を知った、というアンケートもあり。

② 視聴用動画、資料

- ・YouTube 動画の感想で、文字が見えない、声が聞きづらいなど分かりづらかった。
→作るのがとても大変。ただ、委員会審査の雰囲気がすごく伝わる。
 質が高いものへ、市民生活に密着したもの、興味のあるものにしたい。
 動画についての資料が必要。

③ 会場設営

○全体

- ・想定よりも参加人数が多かった。
- ・地域交流センターの会場規模、駐車場の確保が今後の検討課題
- ・理科大、A スクエア、サンパーク等の人が集まる場所で、議会カフェを開催することも検討してはどうか
- ・どうやったら市民が来やすいか。年代は。民間施設を利用する場合、予算の問題がある。
- ・議員がほぼ参加していたため、参加者の人数が多くても、それなりに対応できた。
良かった。

○テーブル

- ・記録を辞めるべきではないか。録音での対応で十分ではないか。
- ・テーブル毎の発表は必要なのか。要点筆記の意味が分かっているのか。
- ・3 常任委員会の委員長をテーブルの湖底から外していたのは心強かった。
- ・議員が事前の準備をしていない。（委員会審査等の復習をしていない、資料も持っていない。会議録の粗原稿を送っていても意味があったのか）
- ・ルールの徹底をする必要がある。
（持論を言いすぎる。市民の言うことを否定する。）
- ・テーブル進行について、集中していたが、進行の勉強が必要ではないか。